

Y.T. 2017年卒 地域マネジメントコース

## こんな学生時代を過ごしました

大学時代は、実習・ゼミ・アルバイトと多くの活動に取り組み、とにかく密度の高い毎日を過ごしていました。実習では「ESDプロモート実習」に所属し、当時まだ広く浸透していなかったESDやSDGsの概念を市民に分かりやすく伝える啓発活動に携わりました。北九州市役所や北九州ESD協議会の皆さまと連携し、ワークショップやセミナーの企画・運営、広報工夫などを行う中で、行政や地域団体と協働しながら地域課題に向き合う姿勢を学びました。

その中で今でも強く印象に残っているのは、実習卒業目前に開催した「SDGsフェスティバル」です。北九州市が古くから続けるエコライフステージと親和性の高い取り組みとして、小倉城周辺をハックし、来場者が環境・SDGsの取り組みを体感できるイベントを企画しました。当時の自分にとっては初の大規模プロジェクトで、ほぼ丸一日がかりの企画を立て運営した経験は、今社会人としてプロジェクトを進める上での大きな土台となっています。

ゼミでは、直方市植木地区を対象に「フットパス（歩く観光まちづくり事業）」を通じた地域づくりの定着活動に取り組みました。地域の魅力を掘り起こし、住民の方々とコースを作成・整備するなど、地域と二人三脚で進めるプロジェクトでした。私はチームリーダーを務めましたが、もともとリーダー職が得意ではなく、人と話し合いながら同意を得て進めること、物事を円滑に滞りなく運ぶことの難しさを痛感した経験でした。それでも、自分にとって大きな成長の機会となり、いまま「潤滑油」として立ち回ることの難しさを感じつつ、その試行錯誤の積み重ねが確かな財産になっていると感じます。



ESDプロモート実習で月一開催していた「ESDツキイチの集い」を開催した時の写真。毎月イベント企画をしていて本当に大変でした。

## 卒業後こんなキャリアを歩んでいます

地域創生学群を卒業後、まずはインテリア小売企業に就職し、店舗での販売業務を経験しました。その後は広告営業、コミュニティFM放送局の運営、テレビ局でのカメラアシスタントなど、異なる業界で幅広い仕事に携わってきました。業種こそさまざまですが、「地域に貢献する取り組み」や「人や企業の魅力を伝えること」への関心は一貫しており、学生時代に培った価値観が常に仕事の軸になっていたと感じています。

その後、北九州で地域企業の支援に取り組む現職チームのメンバーと出会い、活動内容に強く共感したことをきっかけに、現在の有限責任監査法人トーマツ 西日本アドバイザーに所属することとなりました。現在は福岡・熊本・佐賀を中心に、地域のスタートアップや中小企業、アトツギを対象とした伴走支援、事業戦略策定、イベント企画・運営など、多岐にわたる支援業務を担当しています。企業の思いや事業の背景を理解し、その成長のきっかけをともににつくっていくことに、大きなやりがいを感じています。

将来的には、大学時代の経験をさらに活かし、地域や地球規模の課題解決により直結するソーシャルビジネス領域のプロジェクトにも積極的に携わりたいと考えています。地域に新しい選択肢や挑戦の機会を生み出す取り組みを企画し、「地域とともにつくる姿勢」を大切にしながら、これからもキャリアを重ねていきたいです。



ピッチイベントのモデレーターをしている時の写真。人前に出ることも多く緊張しますが、日々経験を積みパワーアップしています。

## 現役生へのメッセージ

学生の頃は、周りの人が全員ちゃんとできていて「自分だけダメじゃん…」と思っていました。でも社会に出て分かったのは、みんな裏で普通に失敗しているという事実。意外とみんな同じです。結局大事なのは「どう見られるか」より「自分がどうしたいか」。今まだそう思えなくても大丈夫です。これから社会を“ゆるく愛でる”視点で楽しんでみてください。